

各位

2019年1月10日
KNT-CTホールディングス株式会社
総務広報部（広報）担当：岩本
TEL：03-6863-0048

旅行取扱状況の概観（平成30年11月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツーリスト東北、近畿日本ツーリスト関東、近畿日本ツーリスト首都圏、近畿日本ツーリスト中部、近畿日本ツーリスト関西、近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリスト九州、近畿日本ツーリストコーポレートビジネス、KNT-CT グローバルトラベル、KNT-CT ウェブトラベル、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、学生団体は前年比 110.6%と前年を上回ったが、一般団体は同 89.4%と前年を下回り、団体旅行合計で同 98.8%と前年を下回った。企画旅行については前年比 101.8%と前年を上回り、個人旅行については同 110.7%と前年を上回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比 102.6%と前年を上回った。

国内旅行の取り扱い、学生団体は前年比 106.5%と前年を上回り、一般団体は同 101.0%と前年を上回り、団体旅行合計で同 104.1%と前年を上回った。企画旅行については前年比 98.7%と前年を下回り、個人旅行については同 103.7%と前年を上回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比 101.0%と前年を上回った。

外国人旅行は、前年比 124.9%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の 11 月の総取扱額は前年比 102.7%となり、前年を上回った。

【区分別の状況】

1. 海外旅行

海外団体については、学生団体は、修学旅行などの取扱人数の増加により、前年比 110.6%と前年を上回った。一般団体は、報奨旅行などの取扱いが好調に推移したが、周年旅行の取扱減少により、同 89.4%と前年を下回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比 98.8%と前年を下回った。

海外企画旅行については、前年比 101.8%と前年を上回った。商品別では、ホリデイは方面別取扱人数の状況で、一部商品のクラブツーリズム商品への一体化の影響があるヨーロッパ方面やオセアニア方面などが前年から減少したが、その他の方面は概ね好調に推移した。クラブツーリズムは、北米やハワイ、オセアニア方面の低迷が続き、また好調であったアジアがやや鈍化傾向となったが、南欧（イタリア）、英国、東地中海（エジプト）を中心としたヨーロッパ方面が好調に推移した。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比 102.6%と前年を上回った。

2. 外国人旅行

外国人旅行は、スポーツ関連団体を中心としたグループ旅行の取扱いが増加したほか、個人旅行の宿泊商品やツアー型商品が好調に推移し、前年比 124.9%と前年を上回った。

3. 国内旅行

国内団体については、学生団体は、修学旅行や校外学習などの取扱人数の増加により、前年比 106.5%と前年を上回った。一般団体は、大型の企業系コンベンションなどの取扱増加により、同 101.0%と前年を上回った。この結果、国内団体旅行で前年比 104.1%と前年を上回った。

国内企画旅行については、前年比 98.7%と前年を下回った。商品別では、メイトは方面別取扱人数の状況において、ふっこう割商品の販売が順調に推移した北海道や首都圏、九州方面などは好調に推移したが、他の方面が低調であった。クラブツーリズムは、山陰、山陽、四国方面のふっこう割商品や関東、佐渡、関西、九州方面の販売が好調に推移したが、バス旅行部門は低迷からの回復がみられず、厳しい状況が続いている。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比 101.0%と前年を上回った。

以上